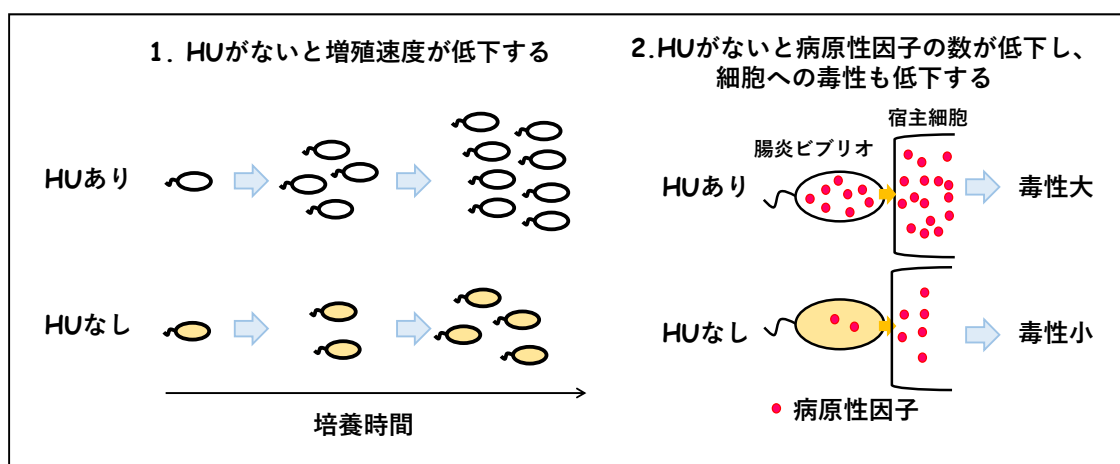


タイトル：腸炎ビブリオの DNA 結合タンパク質 HU は、病原性を調節する

腸炎ビブリオは、汚染された海産物の摂取により、胃腸炎などを引き起こす食中毒の原因となる細菌です。腸炎ビブリオの特徴として、海水のように塩分濃度が高い環境(約 3%)で生育可能であること、増殖速度が速いこと（最小倍加時間は 10 分未満）が挙げられます。

本研究では、DNA に結合する HU が腸炎ビブリオの病原性調節に及ぼす影響について検討しました。その結果 HU 遺伝子を欠損した腸炎ビブリオでは、細胞増殖速度の低下と病原性に関する遺伝子の発現低下、宿主細胞への毒性の低下が認められました。この毒性の低下が、細胞増殖が遅いためかどうかを検討した結果、細胞増殖よりも病原性に関する因子の発現量の低下が主因であることが明らかになりました。

本研究は留学生の Ngoc Quang Phan さん、助教の上番増が中心となり、実施しました。



論文 URL: https://journals.asm.org/doi/10.1128/JB.00306-15?url_ver=Z39.88-2003&rfr_id=ori%3Arid%3Acrossref.org&rfr_dat=cr_pub++0pubmed&